SONY

3-043-018-**05**(1)

デジタルサラウンドヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので必ず保存してください。

目次

MDR-DS5100

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

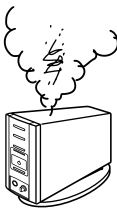
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**

❷ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**

❸ **テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・発熱・発火・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、漏液・破裂・発熱・発火・感電などによりやけどやけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

接触禁止　水ぬれ禁止

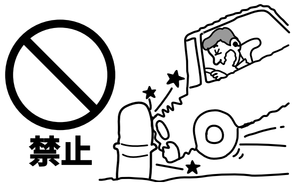
⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



内部に水や異物を入れない

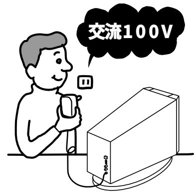
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、充電用接点や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

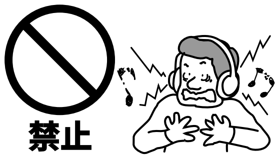
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。
とくに、ミニディスク、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

この機器はニカド充電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険

- 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。
  この電池はソニーデジタルサラウンドヘッドホンシステム専用です。
- 専用の充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
  コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式ニカド電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。
- ソニー製単3形充電式ニカド電池（NC-AA、NC-AAS）、単3形充電式ニッケル水素電池（NH-AA）以外は充電しない。
  液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをします。
- 電池の⊕と⊖を逆に充電しない。
  液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをします。
- 専用の充電器は国内専用のため、必ず表示された電源で使用する。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをします。
- 分解や改造をしない。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをします。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- 水に入れたり、濡らしたりしない。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。また、濡れたときは使用しないでください。
- 充電器にピンなどの金属を差し込まない。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 小児が使用する前に、保護者が正しい使用法を充分教える。また、使用中も正しく使用しているか注意する。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 乳幼児のそばでは、充電プラグを入れたまま放置しない。
  発熱、発火、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。

（次のページへつづく）

⚠注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 充電するときは0〜35°Cの範囲内で使用する。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 湿気やほこりの多いところで、充電器を使用、保管しない。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 直射日光下、ストーブの近くなど、高温の場所で充電器を使用、保管しない。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 充電器本体、取扱説明書などに記載された充電時間を超えた長時間充電はしない。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 使用後や使用しないときは充電器を電源コンセントから抜く。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。
- 充電器に重いものを載せたり、落下させない。
  漏液、破裂、発熱、発火、感電の原因になります。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

ソニー・ニカド電池は正しくお使いください

充電について

電池は使用せずに放置していたときも、自然に放電しますので、必ず充電してからご使用ください。

寿命について

充電式ニカド電池の寿命は約500回の充電・放電が可能ですが、使用条件によっては異なる場合があります。

主な特長

本システムは赤外線を使用したコードレスデジタルサラウンドヘッドホンシステムです。DVDプレーヤーと本システムのデジタルサラウンドプロセッサーを付属の光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、マルチチャンネルのサラウンド音場を、ヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

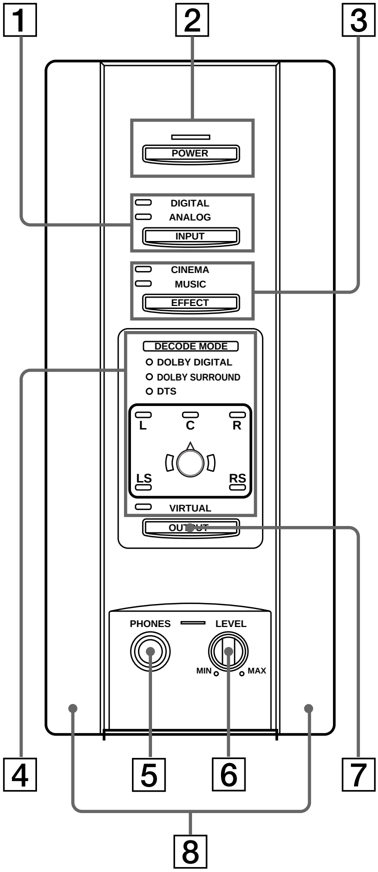
- ドルビーデジタル（AC-3）*、ドルビーサラウンド（プロロジック）、DTS*対応
- バーチャルドルビーデジタル、DTSバーチャル5.1認証取得
- Logic 3Dプロセッサーによる信号処理により、映画館のような臨場感あふれるサラウンドサウンドをヘッドホンで実現
- 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスヘッドホンを採用
- 最大10mまでの広い赤外線到達範囲
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン／オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できるVOL（ボリューム）つまみ
  BALANCE（バランス）つまみで左右の音量バランスも調節可能
- 専用ヘッドホン（MDR-IF5000、別売り）を増設することで、多人数でサラウンドを楽しむことも可能
- ヘッドホン端子付きなので専用コードレスヘッドホン以外に、別売りのオープンエアタイプのヘッドホンを使用可能（ヘッドホン端子は別売りのフルオープンエア型ヘッドホンMDR-F1の使用を前提として調節されています。MDR-F1を接続することでより高音質にサラウンドを楽しめます。）
- ヘッドホンの電源は、付属または指定の充電式ニカド電池、または別売りの乾電池の二通り

* **本システムのプロセッサーはドルビーデジタル（AC-3）デコーダーおよびDTSデコーダーを搭載しています。**
本システムのプロセッサーはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションおよびデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、PRO LOGIC、ドルビーデジタル（AC-3）及びVIRTUAL DOLBY DIGITALはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
DTSおよびDTS VIRTUAL 5.1はDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

CEマークについて
製品上のCEマークはEU加盟国で販売される製品にのみ有効です。

各部のなまえと働き

プロセッサー前面



1 DIGITAL**ランプ**
ANALOG**ランプ**
INPUT**(入力)ボタン**
入力(DIGITAL/ANALOG)の切り換えに使います。

2 POWER**(電源)ランプ**
電源を入れると緑に点灯します。
POWER**(電源)スイッチ**
電源の入/切の切り換えに使います。

3 CINEMA**ランプ**
MUSIC**ランプ**
EFFECT**(効果)ボタン**(詳しくは21ページ)
音場モード(CINEMA/MUSIC)の切り換えに使います。

4 **デコードモード表示**(詳しくは23ページ)

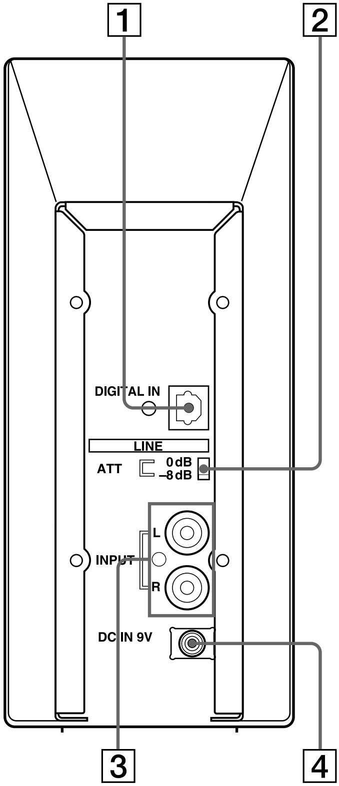
5 PHONES**端子**(詳しくは27ページ)
お手持ちのヘッドホンをつなぎます。
MDR-F1(別売り)をつなぐと最適な効果が得られます。

6 PHONES—LEVEL**つまみ**
PHONES端子につないだヘッドホン(別売り)の音量を調節します。

7 OUTPUT**(出力)ボタン**
出力モード(OFF/VIRTUAL FRONT/VIRTUAL SURROUND)の切り換えに使います。

8 **赤外線発光部**
赤外線発光部が見通せる位置に設置してください。

プロセッサー後面



1 DIGITAL IN**端子**（詳しくは15ページ）
DVDプレーヤーやLDプレーヤーなど、別売りのデジタル機器につなぎます。

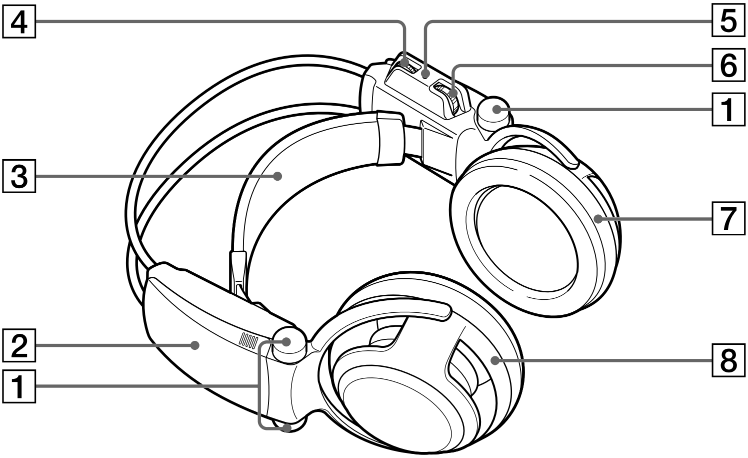
2 ATT**（アッテネーター）スイッチ**
アナログ入力で音声が小さい場合は「0dB」に切り換えます。通常は「–8dB」にして使います。

3 LINE INPUT**端子**（詳しくは16ページ）
ビデオデッキやテレビなど、別売りのAV機器の音声出力端子につなぎます。

4 DC IN**端子**
付属のACパワーアダプターをつなぎます。（必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因となり危険です。）

（次のページへつづく）

ヘッドホン



1 **赤外線受光部**
左右4ヶ所にあります。

2 **電池ケース**
上側に押し上げるとフタが開きます。
付属の充電式電池および単3形乾電池専用です。

3 **フリーアジャストバンド**
頭にかけると自動的に電源が入ります。

4 BALANCE**つまみ**
左右の音量バランスを調節します。

5 POWER**(電源)ランプ**
ヘッドホンをかけると赤く点灯します。

6 VOL**つまみ**
音量を調節します。

7 **ドライバー(右)**
イヤーパッドを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

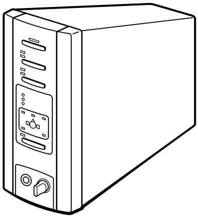
8 **ドライバー(左)**

使ってみましょう

1 本体／付属品を確かめる

本機をお使いになる前にすべてそろっているか確かめてください。

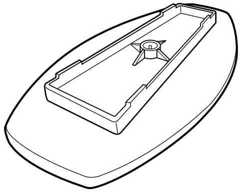
①プロセッサー（１個）



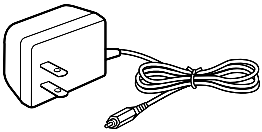
②ヘッドホン（1組）



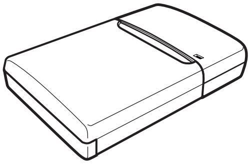
③スタンド（プロセッサー用、1個）



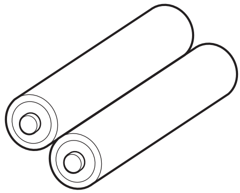
④ACパワーアダプター（1個）



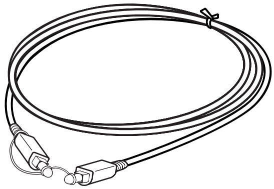
⑤充電器（1個）



⑥充電式ニカド電池（2本）



⑦光デジタル接続ケーブル
（角型←→角型、1本）



2 電池を充電する（詳しくは12ページ）

3 ヘッドホンシステムをつなぐ（詳しくは14ページ）

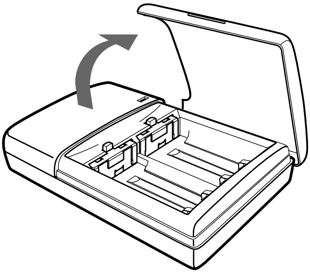
4 つないだ機器の音声を聞く（詳しくは20ページ）

電池を充電する

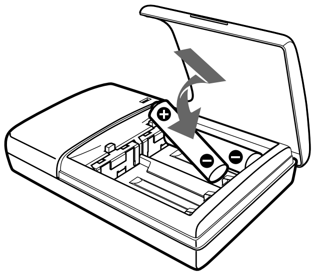
お買上げ時の充電式電池は、まず充電してからお使いください。
必ず付属の専用充電器を使用してください。同時に4本まで充電できます。

充電器に電池を入れる

① ふたを開ける。



② ⊕と⊖の向きを正しく、充電式ニカド電池（付属、2本）を入れる。

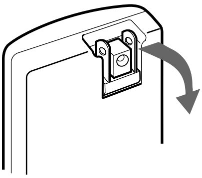


ご注意

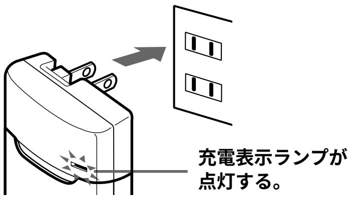
充電式ニカド電池は確実に押し込んでください。また、充電式ニカド電池を入れたあと、ふたは確実に閉めてください。ふたが閉まっていないと充電できません。

充電する

① 充電プラグを起こす。



② コンセントに差し込む。



充電が終わったら

充電時間に達したら充電プラグをコンセントから抜いて、充電式ニカド電池を取り出してください。

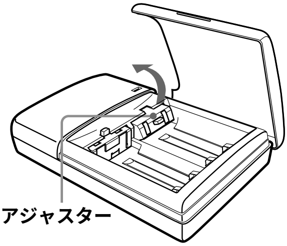
付属の充電式ニカド電池の充電時間の目安と使用可能時間

充電時間	使用可能時間
約1時間	約6時間
約6時間*	約30時間

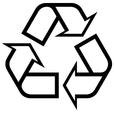
* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間です。

ご注意

- 充電時間は充電式電池の本数に関係なく一定です。
- 充電中に充電器や電池が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 充電器をご使用にならないときは、必ずコンセントから抜いておいてください。
- 暖房器具の近くや強い直射日光の当たる温度の高いところ、また湿度の高いところでの充電や放置はしないでください。
- 充電器のアジャスターが倒れていると充電できません。アジャスターを右の図の矢印の方に戻してから充電してください。
- 完全に放電していない電池を充電した場合、充電表示ランプが早めに消灯することがあります。



ニカド電池について



Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/を参照してください。

ご注意

- 付属の充電器は、ソニー製単3形充電式ニカド電池(NC-AA、NC-AAS)または単3形充電式ニッケル水素電池(NH-AA)が充電できるようになっています。他の同じ形の乾電池や指定以外の充電式電池は絶対に充電しないでください。
- 充電式ニカド電池を充分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。ソニー製の単3形充電式ニカド電池(NC-AA、NC-AAS)または単3形充電式ニッケル水素電池(NH-AA)をお買い求めになるか、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。

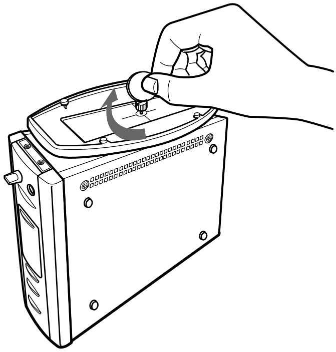
ヘッドホンシステムをつなぐ

設置のしかた

縦置き／横置きを好みで選ぶことができます。

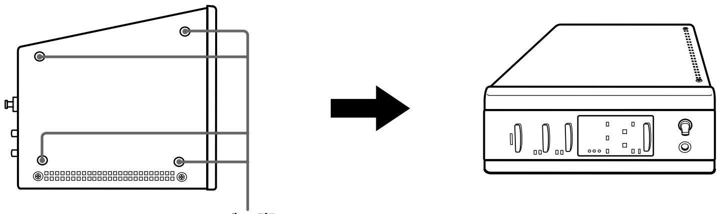
縦置きで使用する場合

コインなどを使って、プロセッサーの底面に付属のスタンドを取り付けてください。



横置きで使用する場合

ゴム脚(4個)が付いている方の面を下にして設置してください。

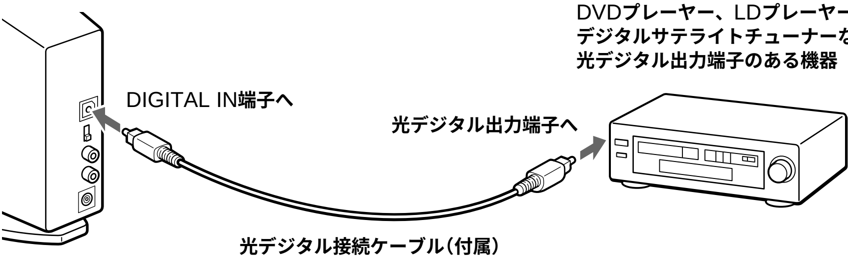


ご注意

- プロセッサーはヘッドホンをご使用になる場所から見通せる位置に設置してください。
- プロセッサーを設置するときは、テレビの上など不安定な場所は避けてください。落下は思わぬケガや故障の原因となります。
- 縦置きで使用する場合、安全のため必ずスタンドを取り付けてご使用ください。
- 横置きで使用する場合、設置条件によっては所定の赤外線到達距離が得られないことがあります。
- 横置きで使用する場合、ゴム脚が付いていない面を設置面にして使わないでください。

プロセッサーとデジタル機器をつなぐ

付属の光デジタル接続ケーブルを使って、DVDプレーヤー（またはLDプレーヤー）やデジタルサテライトチューナーなどの光デジタル出力端子と、プロセッサーのDIGITAL IN端子をつないでください。



ご注意
- 光デジタル接続ケーブルは非常に精密に作られています。このため、外部からの力や衝撃に対して弱くなっておりますので、プラグを抜き差しするときは丁寧にお取り扱いください。
- 本機にはAC-3 RF端子が装備されていませんのでLDプレーヤーのAC-3 RF信号を直接入力することはできません。
- 本機のデジタル入力は96kHzのサンプリング周波数には対応していません。DVDプレーヤー側のデジタル出力に関する設定を48kHzにしてお使いください。96kHzのデジタル信号を入力すると、ノイズが出ることがありますのでご注意ください。

DTSについて
- DTS音声で収録されたDVDを再生するには、DTSに対応したDVDプレーヤーが必要です。（詳しくはお使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。）
- DTS音声で収録されたソースを再生するときは、プロセッサーのINPUT（入力）ボタンを押して、「DIGITAL」を選びます。
- DTSフォーマットのLDやCDで、再生開始時や早送り時などにノイズが発生することがありますが、故障ではありません。

（次のページへつづく）

別売り接続コード

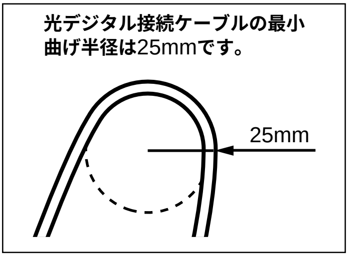
ポータブルDVDプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの光ミニデジタル出力端子からDIGITAL IN端子へつなぐときは、別売りのPOC-5AB（ミニプラグ↔角型プラグ）などをお使いください。

光デジタルセレクター（別売り）

複数のデジタル機器を接続したいときは、SB-D30（光デジタルセレクター（入力3系統、出力2系統）、別売り）をお使いになると便利です。

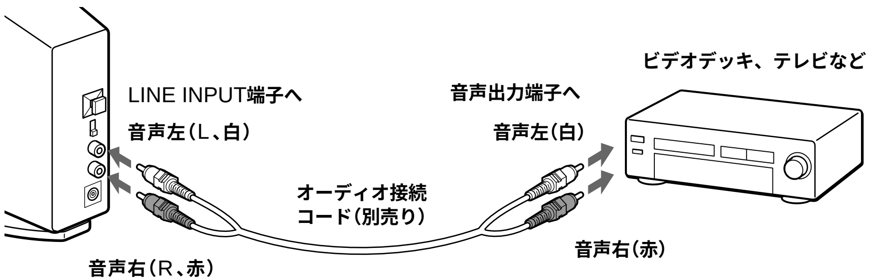
光デジタル接続ケーブルについてのご注意

- 光デジタル接続ケーブルには落下物などによる衝撃を与えないでください。
- 光デジタル接続ケーブルの抜き差しは、プラグを持って、ていねいに行ってください。
- 光デジタル接続ケーブルの端面が汚れると性能が低下しますので、汚さないようにしてください。
- しまうときは、プラグ先端にキャップを付けて、光デジタル接続ケーブルを折り曲げすぎないようにしてください。



プロセッサーとアナログ機器をつなぐ

別売りのオーディオ接続コードを使って、ビデオデッキやテレビなどの音声出力端子と、プロセッサーのLINE INPUT（L/R）端子をつないでください。



別売り接続コード

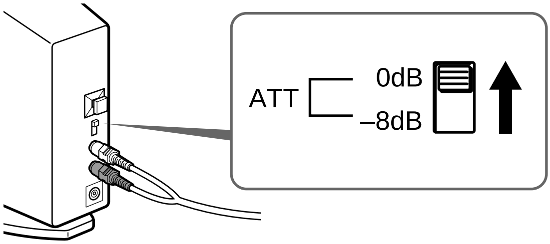
ヘッドホン端子などのステレオミニジャックからLINE INPUT端子へつなぐときは、RK-G129（ステレオミニプラグ ↔ ピンプラグ×2）などをお使いください。

この場合、プレーヤー側のボリュームを5〜7ぐらいにしてご使用ください。プレーヤー側のボリュームが低く設定されていると、ノイズが発生することがあります。

その他の別売り接続コードについては、裏表紙をご覧ください。

ATTスイッチについて

アナログ入力で音声が小さいときは、プロセッサ裏面にあるATT(アッテネーター)スイッチを「0dB」に切り換えてご使用ください。



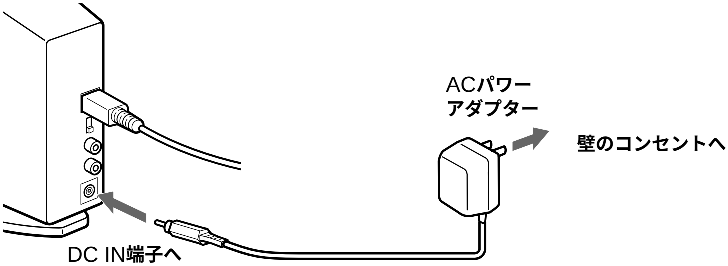
位置	**視聴ソース**
0dB	テレビやポータブル機器など、出力レベルの低いもの
–8dB	その他の機器(出荷時の設定)

ご注意

- ATT(アッテネーター)スイッチは、必ず音量を下げてから切り換えてください。
- アナログ入力された音声がひずむときは、ATT(アッテネーター)スイッチを「–8dB」に切り換えてください。

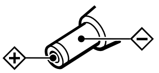
(次のページへつづく)

壁のコンセントへつなぐ



ご注意

- 必ず付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。

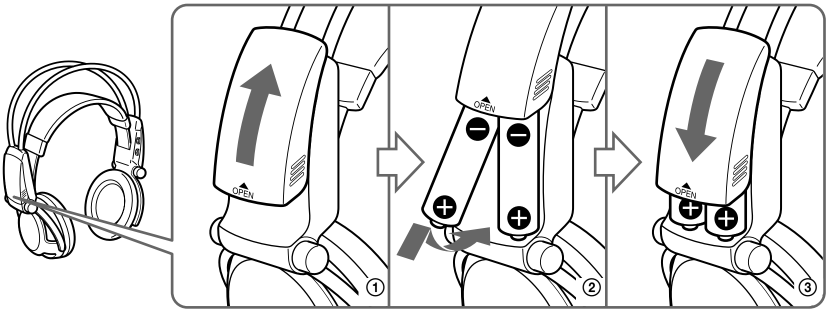


極性統一形プラグ

- 電圧やプラグ極性が同じACパワーアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず付属のACパワーアダプターをご使用ください。

電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、 充電した（12ページ）付属の充電式ニカド電池2本を下図のように入れてください。



その他の電池を使うときは

本機は別売りの単3形乾電池またはソニー製単3形充電式ニカド電池（NC-AA、NC-AAS）、充電式単3形ニッケル水素電池（NH-AA）でもご使用になれます。前ページの図を参考にして電池を入れてください。

乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池　LR6/AM3（N）	約90時間
ソニーマンガン乾電池　R6P/SUM-3（NS）	約45時間

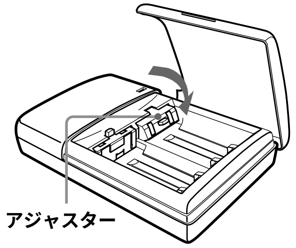
別売りソニー製充電池の持続時間と充電時間

充電池の種類	持続時間	充電時間*
ソニー単3形ニカド電池　NC-AA（700mAh）	約30時間	約6時間
ソニー単3形ニカド電池　NC-AAS（1000mAh）	約40時間	約9時間
ソニー単3形ニッケル水素電池　NH-AA（1450mAh）	約60時間	約10時間

* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間です。

単4形充電池を充電したいときは

付属の充電器はソニー製単4形充電式ニカド電池（NC-AAA）、単4形充電式ニッケル水素電池（NH-AAA）の充電も可能です。



単4形充電式電池を充電する場合は、充電器のアジャスターを倒してお使いください。
単3形充電式電池を充電する場合は、アジャスターを起こしてお使いください。

単4形充電池の充電時間

充電式電池の種類	充電時間*
ソニー単4形充電式ニカド電池　NC-AAA（250mAh）	約5時間
ソニー単4形充電式ニッケル水素電池　NH-AAA（650mAh）	約10時間

* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間です。

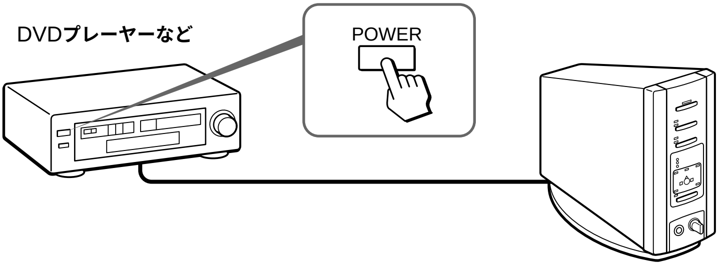
ご注意

ソニー単3形充電式ニカド電池NC-AA（HJ）は使用しないでください。

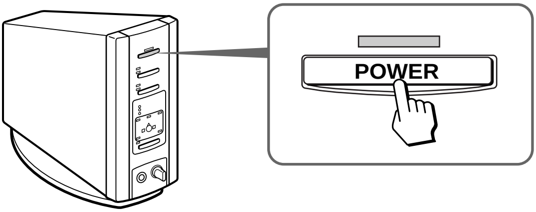
つないだ機器の音声を聞く

操作に入る前に、必ず「ヘッドホンシステムをつなぐ」をご覧の上、正しい接続を行ってください。

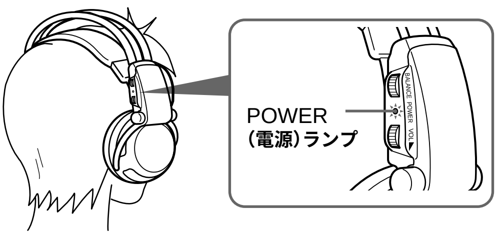
1 プロセッサーをつないだ機器の電源を入れる。



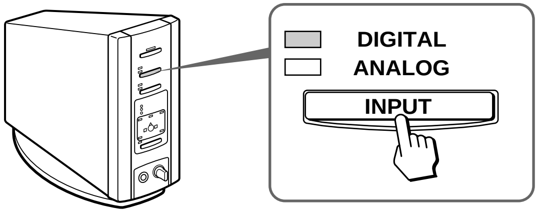
2 POWER（電源）スイッチを押して、プロセッサーの電源を入れる。
POWER（電源）ランプが緑色に点灯します。



3 ヘッドホンをかける。
POWER（電源）ランプが赤く点灯し、自動的に電源が入ります。



4 INPUT(入力)ボタンを押して、音声を聞く機器を選ぶ。

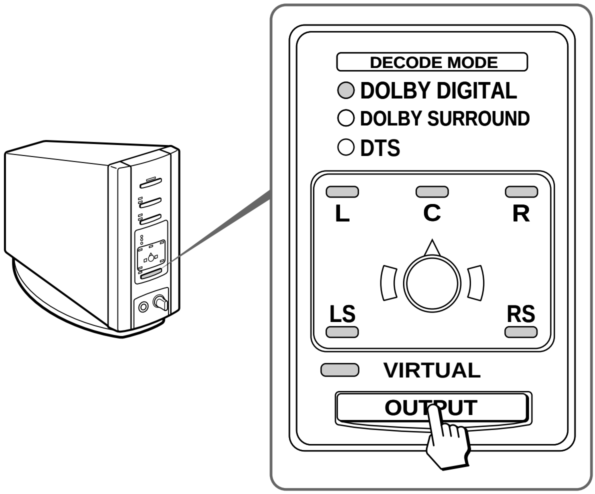


点灯するランプ	聞きたい音源
DIGITAL	DIGITAL IN端子につないだ機器の音声
ANALOG	LINE INPUT端子につないだ機器の音声

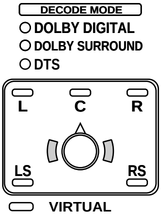
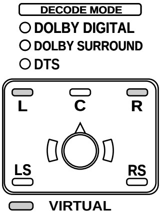
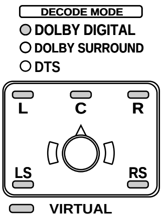
ご注意

二重音声(MAIN/SUB)の音源を視聴するときは、LINE INPUT端子に接続して、プレーヤーやテレビの方で聞きたい音声を選んでください。

5 OUTPUT(出力)ボタンを押して、出力モード(サラウンド効果)を選ぶ(22ページ参照)。



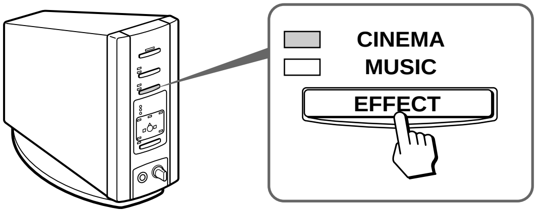
(次のページへつづく)

点灯するランプ	出力モード（サラウンド効果）
	OFF 通常のヘッドホン再生。
	VIRTUAL FRONT 前方に置かれた左右2個のスピーカーから音が聞こえているようなバーチャル効果。
	VIRTUAL SURROUND 前方に置かれた左右2個のスピーカーに加え、1個のセンタースピーカーと後方に置かれた左右2個のスピーカーおよび1個のスーパーウーファー（DOLBY DIGITALおよびDTS点灯時）から音が聞こえているようなバーチャルサラウンド効果。 入力されている音声信号の記録方式をプロセッサーが自動判別して処理します。 「DOLBY DIGITAL」の点灯中：ドルビーデジタル5.1chで記録された音声を処理しています。 「DOLBY SURROUND」の点灯中：ドルビーサラウンド（プロロジック）で記録された音声を処理しています。 「DTS」の点灯中：DTS 5.1chで記録された音声を処理しています。

ご注意

- デコードモード（DOLBY DIGITAL/DOLBY SURROUND/DTS）はプロセッサーにより自動認識され、表示ランプが点灯します。ドルビーデジタルやDTSの音声は、接続したプレーヤーの音声出力で選択してください。
- 下記の場合はDOLBY SURROUNDとなります。
  ーデジタル入力で入力信号がPCMの場合
  ーアナログ入力の場合

6 EFFECT（効果）ボタンを押して、好みの音場モードを選ぶ。

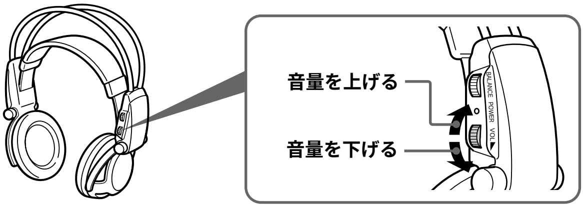


点灯するランプ	音場モードと適した入力ソース（音源）
CINEMA	映画館の音場を再現するモード。 映画などのソースに適しています。
MUSIC	音響環境のよいリスニングルームの音場を再現するモード。 音楽ソースに適しています。

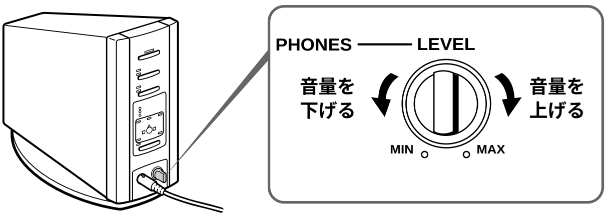
ご注意

21ページの手順5で出力モード（サラウンド効果）「OFF」を選んでいる場合、EFFECT（効果）ボタンを押しても、音場モードは選べません。

7 音量を調節する。



PHONES端子につないだヘッドホン（別売り）の音量を調節するには
PHONES—LEVELつまみを回して調節してください。

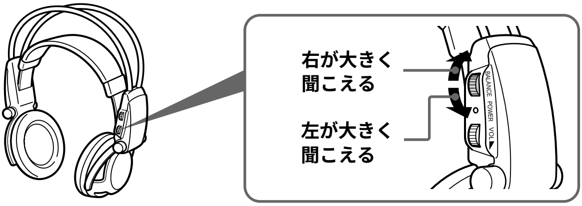


ご注意

映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎて、急な爆発シーンなどで耳を痛めないようご注意ください。

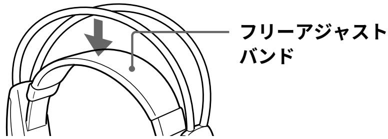
（次のページへつづく）

8 左右のバランスを調節する。



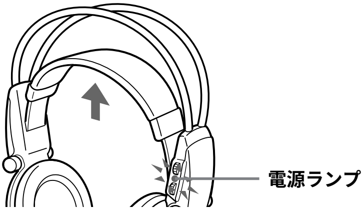
ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます — オートパワーオン／オフ機能

お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようにご注意ください。電源が入ったままになります。



電池の残りを確認するには

フリーアジャストバンドを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。
電源ランプが暗い、または音が歪んだり雑音が多くなったときは、充電池を充電するか、新しい乾電池に取りかえてお使いください。



本システムを使ったあとは

プロセッサーの電源を先に切ってから、つないだ機器の電源を切ってください。つないだ機器の電源が先に切れると、赤外線が切れるため雑音が出る場合があります（故障ではありません）。
ヘッドホンをプロセッサーなどにかけておくとオートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗しますのでご注意ください。

各モード間の移行時間について

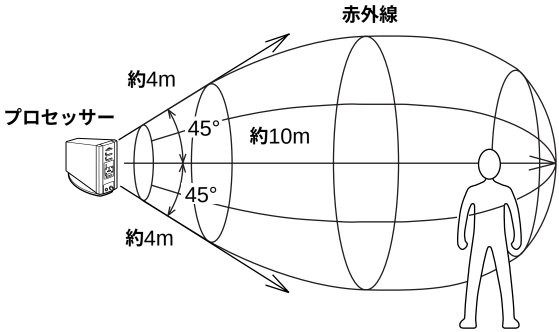
プロセッサーの各ボタンを押してから新しいモードに移行するときに、移行時間が異なることがあります。これはモード移行によるプログラム伝送の違いによるものです。

ヘッドホンから音が聞こえないときは — ミュート機能

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増えると、自動的にミュート機能が働き、ヘッドホンから音が聞こえなくなります。プロセッサーに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

赤外線の届く範囲について

プロセッサーからの赤外線の届く範囲は、おおよそ下図のとおりです。



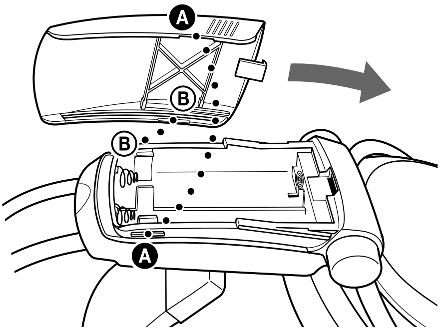
ご注意

- このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であっても、ヘッドホンがプロセッサーから離れるにしたがって雑音（ヒスノイズ）が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- 赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- ヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であれば、プロセッサーをヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもお使いになれます。
- プロセッサーの位置や、お使いになる場所の状況によって、聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- 他のプロセッサーやトランスミッターと併用すると混信することがあります。

（次のページへつづく）

電池ブタが外れた場合の取り付け方法

図のようにⒶとⒶ、ⒷとⒷを合わせて取り付けてください。



約10分間以上音声信号が入力されないと

プロセッサーの赤外線送信部からの赤外線が自動的に停止し、再び音声信号が入力されると自動的に赤外線が送信されます。また、アナログ入力で非常に小さい音が約10分間続いたときも、赤外線送信部からの赤外線が停止することがあります。この場合は接続した機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。

ご注意

- プロセッサーの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。
- ヘッドホンは、赤外線が届く範囲（「赤外線の届く範囲について」25ページ）でお使いください。
- 直射日光などの強い光線の下でプロセッサーを使わないでください。音がとぎれることがあります。
- オープンエアタイプのヘッドホンは、音が外にもれる構造になっています。音量を上げ過ぎて、周囲の迷惑にならないように心がけてください。
- 周囲の音が聞こえるように、また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお使いください。
- 音楽CDのように映像を伴わないソースの場合、音の定位がわかりにくい場合があります。
- 本システムは人間の平均的なHRTF*（頭部伝達関数）をシミュレートしていますが、HRTFには個人差があるため効果の感じかたは人により異なる場合があります。

* Head Related Transfer Functionの略です。

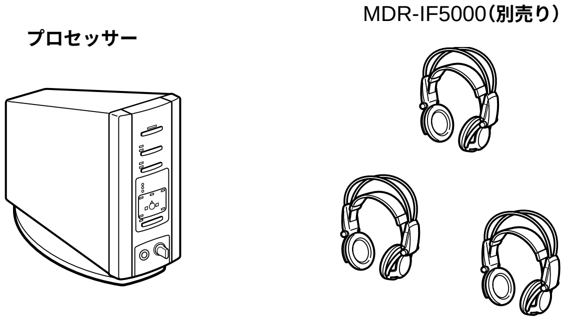
増設ヘッドホンのご案内

本システムでは2通りの増設ヘッドホンを用意しています。

ワイヤレスで多人数で楽しみたい

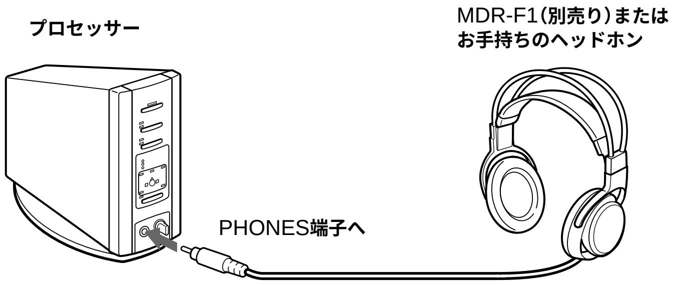
→ 専用赤外線コードレスヘッドホン（MDR-IF5000、別売り）を増設することで、多人数でサラウンドを楽しめます。

* 受信エリア内であれば、何台でも使用可能です。



より高音質にこだわりたい

→ PHONES端子は別売りのフルオープンエア型ヘッドホンMDR-F1の使用を前提として調整されています。MDR-F1を接続することでより高音質にサラウンドを楽しめます。お手持ちのオープンエアタイプのヘッドホンでもご使用いただけます。よりよいサラウンド効果を得るためには、専用コードレスヘッドホンまたはMDR-F1のご使用をおすすめします。



ご注意

- ヘッドホンをPHONES端子から抜くときは、コードを引っぱらずに、必ずプラグをつかんで抜いてください。
- 密閉型やインナーイヤー型のヘッドホンを接続した場合、サラウンド効果が得られないことがあります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正確に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因と対応のしかた
音がでない（両ch、または片ch）	➡プロセッサーの電源を入れる。 ➡プロセッサーとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。 ➡プロセッサーにつないだAV機器の電源を入れ、演奏（再生）を始める。 ➡INPUT（入力）ボタンで、音を聞きたい機器を正しく選んでいるか確認する。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を上げる。 ➡ヘッドホンの音量を上げる。 ➡ヘッドホンのBALANCE（バランス）つまみの位置を確認する。 ➡ミュート機能が働いている。 • プロセッサーとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。 • なるべくプロセッサーの近くでヘッドホンを使用する。 • プロセッサーの位置や角度を変える。 ➡ヘッドホンのPOWER（電源）ランプが暗い、または消灯している。 充電式電池が消耗しているので充電する。または、乾電池を新しいものと交換する。 それでもランプが消灯したままの場合は、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にお持ちください。 ➡DTSに対応していないDVDプレーヤーでDTS音声トラックを再生している。 DTSに対応したDVDプレーヤーを使用する。またはDolby Digital やPCM音声トラックを選択する。
音がひずむ	➡プロセッサーのATT（アッテネーター）スイッチを「–8dB」に切り換える。 ➡ヘッドホンのPOWER（電源）ランプが暗い、または消灯している。 充電式電池が消耗しているので充電する。または、乾電池を新しいものと交換する。 それでもランプが消灯したままの場合は、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にお持ちください。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続した機器の音量を下げる。 ➡DTSソース視聴時は、プロセッサーの出力モードをVIRTUAL SURROUNDにする。

症状	原因と対応のしかた
雑音が多い／音が小さい	➡プロセッサーの近くでヘッドホンを使用する。 プロセッサーから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。 ➡プロセッサーとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。 ➡ヘッドホンの赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。 ➡直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または直射日光の当たらない場所で使う。 ➡プロセッサーの位置、角度を変える。 ➡プロセッサーのATT（アッテネーター）スイッチを「0dB」に切り換える。 ➡ヘッドホンのPOWER（電源）ランプが暗い、または消灯している。 充電式電池が消耗しているので充電する。または、乾電池を新しいものと交換する。 それでもランプが消灯したままの場合は、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にお持ちください。 ➡プロセッサーとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、接続したAV機器の音量を上げる。
サラウンド効果が得られない	➡OUTPUT（出力）ボタンで、VIRTUAL SURROUNDモードを選ぶ（23ページ）。 ➡再生中のチャプターの音声がマルチチャンネルの信号になっていない。 モノラル音源などのサラウンド処理されていない信号の場合、サラウンド効果が得られません。
DOLBY DIGITAL ランプが点灯しない	➡DVDプレーヤーの音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを内蔵した機器を使用するときの設定（「ドルビーデジタル／PCM」、「Dolby Digital」など）に切り換えてください。 ➡ドルビーデジタル5.1chに対応していないDVDソフトを再生している。 ➡再生中のチャプターの音声がマルチチャンネルの信号になっていない。
DTSランプが点灯しない	➡DVDプレーヤーのDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている。 DVDプレーヤーに付属の説明書をご覧になり、DTSデジテル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡DTSに対応していないDVDソフトを再生している。 ➡再生中のチャプターの音声がDTSになっていない。 ➡DVDプレーヤーがDTSに対応していない。 DTSに対応したDVDプレーヤーをご使用ください。
充電できない	➡乾電池が入っている。 付属または指定の充電式電池を入れる。 ➡付属または指定以外の充電式電池が入っている。 付属または指定の充電式電池を入れる。

使用上のご注意

取り扱いについて

- プロセッサー、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 各機器を分解したり、開けたりしないでください。

電源と設置について

- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターの電源コードをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグをつかんで抜いてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
  - ほこりの多い所。
  - ぐらついた台の上や傾いた所。
  - 振動の多い所。
  - 風呂場など、湿気の多い所。

ヘッドホンについて

耳を守るために

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

イヤーパッドについて

イヤーパッドは長期の使用、保存によって劣化する恐れがあります。
イヤーパッドを交換する場合は、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れのしかた

機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

異常や不具合が起きたら

- 万一異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。
- テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはサービス窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとプロセッサーを一緒にお持ちください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスデジタルサラウンドヘッドホンシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

プロセッサー　DP-IF5100

デコーダー機能	ドルビーデジタル5.1ch＆2ch ドルビープロロジック DTS
バーチャルサウンド機能	OFF バーチャルフロント バーチャルサラウンド
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル　2.8MHz 左チャンネル　2.3MHz
到達距離	正面約10m
伝送帯域	20～20,000Hz
ひずみ率	1%以下（1kHz）
音声入力	光デジタル入力（角型）×1系統 アナログ入力（ピンジャック、右／左）×1系統
電源	DC 9V（付属のACパワーアダプターを使用）
最大外形寸法	約85×190×180mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約1.0kg（1000g）

ヘッドホン　MDR-IF5000

再生周波数帯域	12～24,000Hz
電源	付属の充電式ニカド電池（NC-AA、1.2V、700mAh、Ni-cd）または別売りの単3形乾電池／充電式電池
質量	約280g （付属の充電式ニカド電池含む）

付属品

スタンド（1）
ACパワーアダプター（9V）（1）
充電式ニカド電池（NC-AA）（2）
充電器（1）
光デジタル接続ケーブル（光角型プラグ↔光角型プラグ、1.5m）（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）
技術解説書（1）

推奨アクセサリー

接続コード　RK-C310、RK-C315、RK-C320、RK-C330（ピンプラグ×2 ←→ ピンプラグ×2）
RK-G129（ステレオミニプラグ←→ピンプラグ×2）

光デジタルセレクター
SB-D30

光デジタル接続ケーブル
POC-5A、POC-10A、POC-15A、POC-20A、POC-30A（光角型プラグ ←→ 光角型プラグ）
POC-5AB、POC-10AB、POC-15AB、POC-20AB、POC-30AB（光角型プラグ ←→ 光ミニプラグ）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：（048）794-5194
受付時間：月～金　午前9時から午後６時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

Printed in Korea